

一般社団法人朝霞地区薬剤師会

# あさやくだより

第11号



(一社)朝霞地区薬剤師会  
 発行人: 広報委員長 細川 玄機  
 〒351-0021朝霞市西弁財1-10-21-312号  
 TEL: 048-483-4125 FAX: 048-483-4126  
 asaka-ph@asakaph.or.jp

## 会長 挨拶



秋も深まり、例年であればインフルエンザシーズン到来ということですが、今年はコロナ感染の第3波が現実のものとなり医療機関は相変わらず緊張を強いられています。この1年間で、感染症の実態や経過も見えてきて、予防法や治療法も具体的になっています。3密の回避、マスクの着用、消毒法に加え、デキサメタゾンなど一定の効果が期待される薬剤も判ってきました。年明けにはワクチンの接種も実現しそうです。

世の中は確実に新しい生活様式に向けて変化しました。IT化は一気に進み、会議や研修会はオンラインで行うことが主流になっています。薬剤師会もこの流れに乗り、何とかオンライン研修会を開催することができました。今後に向けて、オンライン認証、オンライン処方箋、オンライン服薬指導などの議論も活発になっており、薬局業務においてもIT化の波は止まりそうもありません。個人的にも、若い人たちに牽引してもらわないといけない状況になりつつあり、悩ましい限りです。

朝霞地区薬剤師会は、理事たちが活発に討議をし、できることを探しながら一歩ずつ前に進んでいます。今年の秋は、個人や団体がいくつもの表彰をいただきました。これまで活動を地道に続けてきたことへの評価と思っています。受賞されたみなさま、おめでとうございます。

(会長 畑中 典子・株式会社かくの木)

## 令和2年度秋の叙勲

松永 仁 名誉理事

「旭日双光章」

別紙をご参照ください。



## 第53回日本薬剤師会学術大会



### 「ポスター最優秀賞」

今年度の日本薬剤師会学術大会(10月10日・11日、北海道札幌市)は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、現地開催とウェブ開催を併用したハイブリッド方式での開催となりました。

テーマは、「その先へ～イランカラブテ・あなたに寄り添う心とともに～」。アイヌ語で「こんにちは」という挨拶の他に、「あなたの心にそっと触れさせていただきます」という意味を持つイランカラブテを添えたのは、国民の心に寄り添う未来の薬剤師像をイメージしてのことだとか。胸に刻んでおきたい言葉です。

ポスター発表については、現地での掲示・示説は行わず、WEBに掲載された発表データについて審査が行われ、最優秀賞を頂くことができました。ご報告とお礼は、別紙でご覧ください。(常務理事 清水 勝子・新倉健康薬局)

## 埼玉県薬剤師会学術大会

### 設立125周年記念式典

#### 「埼玉県薬剤師会賞」



11月8日開催の「埼玉県薬剤師会設立125周年記念式典」において、細川玄機理事(広報委員長、県薬補欠代議員、薬物乱用防止指導員)が、「埼玉県薬剤師会賞」を受賞しました。

「県薬学術大会」では、松永仁名誉理事の旭日双章受章、日薬学術大会ポスター最優秀受賞について壇上で紹介され、表彰と共にその榮譽を称えられました。



## 第49回埼玉県薬事団体連合会

### 「県知事表彰」(団体・個人)

#### 「県知事感謝状」

10月27日に埼玉会館で開催された「埼玉県薬事衛生大会」では、薬業を通し県民の保健衛生の向上に大きく貢献したことで、団体として(一社)朝霞地区薬剤師会が、個人として大八木実理事が県知事表彰を受賞しました。

また、長く薬物乱用防止活動を続けてきた松永仁名誉理事には、その功績を称えて埼玉県知事感謝状が授与されました。



**第2回朝霞地区薬剤師会研修会 10月22日**

今回の研修会「地域フォーミュラリー」については、2月に開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響により直前に延期となったものです。コロナ禍の収束の見通しは立たない中WEB研修会として開催することができました。

地域フォーミュラリーは、薬物治療の標準化を図り、臨床的有用性の高い医薬品の使用を促進するとともに、医療費を抑制し、地域の病院や診療所、薬局、介護施設等と連携することで医療の質の向上を目指すものです。また、地域医療における包括的ケアプラン、医療費適正化をすることで、患者にとって安全な薬物療法を支援するためのガイドラインを構築し、可能な限り標準薬使用を推奨することで医療の質が向上すると考えられます。

今回はフォーミュラリーについて積極的に取り組んでおられる新座病院薬剤科長（当時）鈴木義人先生に、基本的な地域フォーミュラリーの考え方を、東所沢病院薬剤科長の佐藤光先生には院内フォーミュラリーを基にして薬剤師による客観的評価と地域連携の必要性をご講演頂きました。

地域フォーミュラリーには多くの課題が有ります。朝霞地区はお薬手帳開発やポリファーマシー対策事業など地域の医療機関や行政などの連携に深いご理解をいただいています。今後も皆様のご協力とご理解を頂けると考えております。

（副会長・地域連携委員長 大八木 実・フレンド薬局）



**ピクトグラムシールを  
ご活用ください！**

朝霞地区薬剤師会が作り上げた「おくすり手帳」！その表紙に貼付する「血のシール」や「骨のシール」といった「ピクトグラムシール」は、朝霞地区三師会で作成したものです。そのシールとポスターが、当会ホームページからダウンロードできるようになりました。

患者さん達の安全と安心のために、おくすり手帳を利用した「ピクトグラムシール」を、医療情報共有のためのツールとして広めていきましょう。

ピクトグラムシールは  
こちらからダウンロード  
できます。



**初めてのWEB研修会を終えて**



まだまだCOVID-19の感染が収束しない中、皆様に安心してご参加いただくために、第2回研修会はWEB会議ツールZoomを使って開催しました。

ウェブ会議ツールを用いた研修にもシール発行が時限的に認められ、朝霞地区薬剤師会の登録機関申請も受理されたため実現したものです。

初のZOOM研修会ということで、不安を抱えたまま8月から準備を開始しましたが、研修会の案内発送から申し込み、その後のZoomIDの送付、アンケート回収や受講中のキーワードの報告まで、全てのやり取りをメールやGoogle フォームを使った結果、デジタル時代に即した初のペーパーレス研修会となったことは収穫でした。

回収したアンケートからは研修会内容について概ねご満足いただけたことが何え、会員の皆様に研修受講シールを無事郵送できたことでホッとしているところです。

初めてのことでいくつか問題はありましたが、皆様のご意見を参考にさらに質の高い研修会実施に向けて、現在委員一同準備を進めているところです。

（副会長・研修委員長 須田 友子・須田薬局本店）

**朝霞地区入退院支援ルール作成会議**

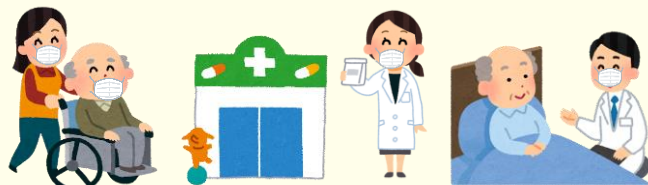
朝霞地区医師会と4市では、在宅医療・在宅介護の充実を図るため、要介護・要支援者及び退院支援が必要な方が入院または退院をするにあたって、病院等と在宅関係者が円滑に連携し患者情報を共有するための標準的なルールとして「朝霞地区入退院支援ルール」を作成し、普及・啓発を図ることになりました。

朝霞地区医師会地域包括ケア支援室と4市行政が事務局となり、医師会、歯科医師会、薬剤師会、地域包括支援センターをはじめ11の団体から選出された代表者・委員34名からなる作成委員会に、地区薬剤師会からは畑中会長を推薦し、10月に第1回委員会が開催されました。

今後、新型コロナウイルス感染予防のため主にメールで意見交換を行い、必要に応じて対策を講じての集合会議全5回が今年度中に予定されています。

地区薬剤師会では、地域の病院薬剤師も委員に参加している地域連携委員会で資料やアンケートを共有し、入退院時の処方調整等をスムーズに行うための意見を取りまとめ、作成会議に提出しています。

（常務理事 清水 勝子・新倉健康薬局）





**朝霞地区薬業連携研修会（第3回和光薬業連携勉強会） 11月6日**

国立病院機構埼玉病院にて開催された「第3回和光薬業連携勉強会」では、癌薬物療法の専門医師、看護師、薬剤師から、実臨床における貴重なお話を聞くことができました。

野崎由美医師の講演「乳癌化学療法とirAEの取り組みについて」では、近年、免疫チェックポイント阻害剤が次々と開発され、トリプルネガティブ乳癌にも適応となったこと、またirAEの取り組みについて、チェックシートや対応チャートを利用して早期発現と早期治療、患者教育、臓器別治療アルゴリズムの確立が重要であることを理解しました。

米野陽子看護師からは、外来化学療法室での様子、爪のケアや脱毛に対する助言の際に気を付けていること、皮膚の保清や保湿の指導等についてのお話があり、薬局薬剤師も積極的に関わっていきたいと思いました。

最後に龍島靖明薬剤師の講演は、免疫チェックポイント阻害薬の主な副作用や頻度、その重症度・治療例の紹介、そして、特定薬剤管理指導についてと埼玉病院での連携充実加算算定に関する内容でした。レジメンは、病院HPで公開されており、「特定薬剤管理指導加算2」の報告用紙は、同HP内にあり病院への報告に使用できるとのことでした。

質疑応答の中で「薬局薬剤師は患者の生活面から支え、聞き取りを行うことが多い。経済的、社会的な要素を含む内容のフィードバックをしてもよいか？」という質問に対し、「とても重要なポイントで化学療法を途中中断する理由の一つとして金銭的な理由は十分考えられる。患者のアドヒアランス向上の観点からも必要とあれば是非フィードバックしてほしい」と医師から意見を頂きました。（石田 理香・かくの木菅沢薬局）

埼玉病院のレジメンは、こちらからダウンロードできます。→



**新型コロナウイルス感染症対策（三原薬局）**

当薬局では、3月の下旬より新型コロナウイルス感染症の対策を開始しました。

薬局の待合スペースが狭いため、店舗への入店人数を3人に制限し、その旨を薬局入り口に表示しています。薬局内は入ってすぐの場所に自動アルコール噴霧器を設置、ソーシャルディスタンスを保つため、着席可能な場所以外には「ここには座らないでください」の張り紙をしてあります。処方受付と待合スペースの境にはビニールカーテンを設置、定期的な換気、椅子のアルコール清掃もこまめに行っております。

感染防御・感染予防のため、薬剤師は服薬指導時に、マスク、フェイスシールド、手袋を着用しています。

また、患者さんに対しては、感染予防の喚起及び情報提供、冊子などの配布も行っています。（広報委員長 細川 玄機・三原薬局）



**新型コロナウイルス感染症対策（さつき薬局）**

薬局に入るときには、必ずアルコール消毒液で手指の消毒をしていただきます。その際、ワンプッシュ以上のアルコールを取り、指の間までしっかり消毒するように指導し、体温を測らせていただいています。発熱傾向、味覚障害、から咳等を訴える方は待合室とは離れたお客様相談室へご案内し対応しています。

投薬口にはアクリル板を設け、排気窓はいつも開けるように心がけております。

在宅訪問も増えており、その際にはアルコールスプレーを事前に手指と全身に噴霧し、マスクとフェイスガードを着用しております。

施設調剤も受けているため、コロナウイルスに絶対に感染しないよう、スタッフ一同日常においても密を避ける生活を心がけるなど、皆最大限の努力をしております。これからもいろいろな対策を模索し実行していきたいと思います。

（地域連携委員 内野 裕嗣・さつき薬局）



おすすめの本

ブルシット・ジョブ  
クソどうでもいい仕事の理論

デヴィッド・グレーバー著

酒井隆史、芳賀達彦、森田和樹 訳 (岩波書店・2020)



著者のデヴィッド・グレーバーは2020年9月に急死したばかりなのですが、文化人類学者という肩書きの一方で、ウォール街占拠運動などに関わった活動家でもあり、自ら「アナキスト」と名乗っています。タイトルの「ブルシット・ジョブ」とは、「その仕事をしている本人が社会に対して何の貢献もしていないと内心で思っているのに報酬

を得ているような仕事」で、「社会にとって必要であるにも関わらず不当に報酬が低い仕事=シット・ジョブ」の正反対と定義されています。原書の出版は2018年ですが、コロナ禍によってエッセンシャルワーカーが注目されるようになるなど、この本の問題提起がリアリティを強めていると世界的に受け止められているようです。

「仕事/労働」「報酬」「価値」「生産性」といった概念はそもそも何なのか?といったことを議論する第6章が特におすすめで、20世紀の経済学やビジネス論について関心のある人ほど目から落ちる鱗が増えるのではないのでしょうか。このあたりの予備知識がない方は、とりあえずは訳者あとがきだけ立ち読みしてみてもこの本の面白さを垣間見ることができると思います。ちなみに、薬剤師の証言が本文中1人だけ紹介されています。

(広報委員 田代 健・地球堂薬局)

佐々木敏の栄養データはこう読む!  
疫学研究から読み解くぶれない食べ方 第2版

東京大学院教授 佐々木敏著

(女子栄養大学出版部・2020)



東京大学大学院教授である佐々木敏先生の2015年出版本の改訂版です。ガイドラインや栄養素、食品摂取量などの数値が直近のものに改められています。内容に関しては追加されている部分もちろんあるのですが、必要最低限のみの改訂となっており、5年前に紹介された内容の有用性をより感じる事が出来ます。

栄養や健康に関する情報が氾濫する時代。私たちはどのような知識と心構えを持って情報を選択し扱っていけば良いのか?EBMの栄養版であるEBN (evidence-based nutrition) の流れに沿って説明されています。図が多用されている点も非常に分かりやすいです。また、世界各国の食べ物や健康の問題、それに対する取り組みなども記載されています。栄養健康リテラシー向上のため、姉妹書である「データ栄養学のすすめ」と併せておすすめいたします。

(広報委員 酒井 清貴・なぎさ薬局あさか店)

俳句を楽しむ



- 山門を  
くぐるやちらと冬桜
- 店先に  
青森産の鱈どさり
- この時と  
ばかりに顔出す冬母
- ジャズバンド  
流るやホテルのクリスマス
- コロナ禍の  
令和二年の除夜の鐘

渡邊 みち草 (監事 渡邊 美知子)

今後の研修会予定



1月以降の研修会については、研修委員会が準備を進めています。詳細が決まり次第、メール・HPでお知らせしますので少しお待ちください。今年度3月までの研修会は、すべてWEB開催の予定です。

研修会の開催予定、詳細はHPの「研修会」ページをご覧ください。



令和2年度新年会 中止のお知らせ

毎年2月に開催していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は中止とさせていただきます。



編集後記

昨年末に我が家に侵入した老婦人の正体(会報第9号編集後記参照)が、近ごろ判明しました。ご近所に住む認知症の方でした。

先日、厳つい外見の中年男性が我が家の庭を覗いていたので、不審に思っよく見てみたところ、あの老婦人と一緒に庭に咲いた花木を眺めていたのです。思わず声をかけて、昨年末の騒動をお話してみました。そのご婦人は60代にご主人をなくされ、その後認知症を患われたとか。我が家以外にも何件か同じようなことがあったようです。昨年末からの我が家のもやもやが晴れてすっきりした瞬間でした。(広報委員長 細川 玄機・三原薬局)



(一社)朝霞地区薬剤師会  
〒351-0021

朝霞市西弁財1-10-21-312号

TEL : 048-483-4125

FAX : 048-483-4126

E-mail

asaka-ph@asakaph.or.jp

